

山梔子 GARDENIAE FRUCTUS

(基原) ¹⁾¹⁶⁾

コリンクチナシ *Gardenia jasminoides* Ellis またはその他同属植物 (アカネ科: *Rubiaceae*) の果実である。

東医研薬局ではアカネ科コリンクチナシの中国 (浙江省) 産の果実を乾燥したものを使用している。

(性状) ¹⁾⁴⁾

ほぼ長卵形～卵形を呈し、長さ1～5cm、幅1～1.5cmである。外面は黄褐色～黄赤色で、通例6本、まれに5本又は7本の明らかな稜線がある。一端にはがく又はその跡があり、他端には果柄を付けているものもある。果皮の内面は黄褐色を呈し、平らでつやがある。内部は二室で、黄赤色～暗赤色の胎座に種子の団塊が付く。種子はほぼ円形で扁平、長径約0.5cmで、黒褐色または黄赤色である。

花期は5月～7月、果期は8～11月、採集時期は秋 (完熟期)

<基原植物> 日本の西南部から台湾及び中国の暖地にかけて自生。庭木としても栽植。常緑の低木で高さ約2m、よく分枝する。花は単生し芳香がある。花冠は白色で高盆状、裂片は6～7枚で広倒ひ針形で開出している。閉果は倒卵形～長だ円形で長さ1.5～2.5cm。¹⁾

<採取と調製> 黄変し完熟した果実 (赤変する前) は11月ごろ霜が降りた後で採取し、果柄及びがくを除去して乾燥する。油脂質で、なかなか乾き難いため、黒変することがあるが良くない。¹⁾¹⁵⁾

(産地) ¹⁾⁴⁾¹⁶⁾

日本、中国、韓国、台湾等で産出される。

日本：高知、香川、鹿児島県などの各県

中国：湖南、江西、浙江、福建省などの各省

昭和63年、平成元年とも輸入数量230t、国内生産量200kgというように輸入にたよっている。輸入品は若干韓国産もあるが、ほとんどは中国産である。

(品質)

生薬は小形で丸く、内部の赤黄色のものを漢方では良品としている。¹⁾

古典(重校薬徴、古方薬品考、新古方薬囊、和漢薬の良否鑑別法及調製方)を要約すると選品は「内部が赤黄色、黄褐色、赤褐色で外皮が薄く、丸手のものがよい。大きいものよりむしろ小さい方がよい。長手のものは次品である。」ということになる。⁴⁾⁸⁾

採取の際雨続きであったため、腐朽して黒くなったものや、陳久のものはいけない。¹⁸⁾

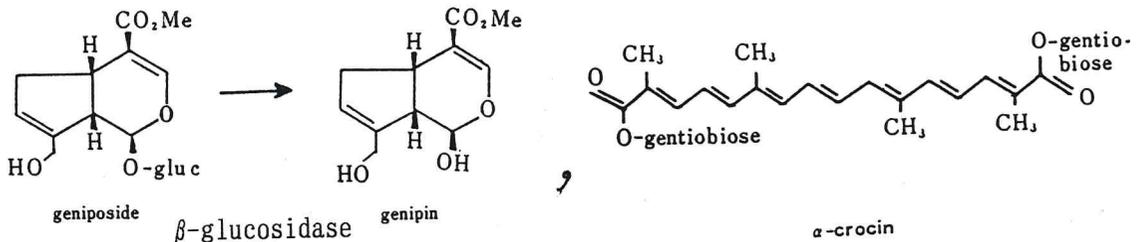
(成分) ¹⁾⁴⁾⁵⁾⁶⁾⁹⁾¹⁶⁾¹⁷⁾

イリドイド配糖体: geniposide (4~6%)、gentiobioside、gardenosideなど

カロチノイド色素: crocin、crocetinなど

フラボノイド: gardeninなど

その他: 脂肪油(種子に14~18%)、mannitol、 β -sitosterolなど



(現代薬理)

○鎮痛作用: ⁵⁾⁷⁾

geniposide・genipin (マウス、皮下投与) は酢酸Writhingを抑制する。

○瀉下作用: ⁴⁾⁵⁾⁶⁾⁷⁾

geniposide・genipin・水製エキス (マウス、経口投与) で緩下作用が認められる。

{機序はgeniposideが β -glucosidaseにより加水分解されてgenipin (作用本体) を生成し、その大腸内輸送促進作用によって瀉下作用を発現すると考えられる。}

○胃障害抑制作用：⁴⁾⁵⁾⁷⁾¹⁷⁾

genipin (ラット、幽門結紮)は胃液の分泌量抑制、総酸度減少、胃液pH値上昇を示す。また、genipin (ラット、胃内灌流法)はカルバコールの胃酸分泌作用を抑制する。

{機序は抗コリン作用が関与していると考えられる。}

○利胆作用：⁴⁾⁵⁾⁶⁾⁷⁾

水製エキス・アルコールエキス (ウサギ、ラット、静脈内投与)、crocetin・crocetin (ウサギ)、geniposide・genipin (ラット、経口投与)は胆汁分泌を亢進する。

→genipinは静脈内・十二指腸内 (25mg/kg)、門脈内 (2.5mg/kg) 投与でデヒドロコール酸ナトリウムと同等かそれを凌ぐ一過性の利胆作用が認められている

{機序は毛細胆管胆汁の胆汁酸非依存性胆汁排泄の増加と考えられる。}

○鎮静作用：

山梔子の抽出液 (マウス)で鎮静作用が認められる。

○肝障害予防作用：⁵⁾

水煎液はラットのガラクトサミンによる実験的肝障害を抑制する。

○血圧降下作用：⁴⁾⁵⁾

水煎液・エタノールエキス (ネコ、ウサギ、ラット、経口投与)で血圧降下作用が認められる。また、メタノールエキス (ウサギ、*in vitro*)は肺より得たアンジオテンシン変換酵素の活性を阻害する。

○脂質代謝改善作用：⁴⁾⁵⁾⁶⁾⁷⁾¹⁷⁾

食餌性高脂血症動物において、熱性水製エキス、crocetinは血清コレステロール値を、genipinはカイロミクロン、VLDLを低下させる。またgeniposideは高砂糖食飼育ラットの血清及び肝脂質量減少作用を示す。

crocetin (ウサギ)は実験的動脈硬化の予防効果が認められた。

○学習行動、性行動低下予防作用：⁵⁾

ストレス負荷マウスに対し、geniposide、genipinは強い学習行動低下の予防作用を示す。またgeniposide、genipin、gardenosideには性行動低下に対しても予防作用が認められる。

○血液凝固線溶系に対する作用：⁵⁾

水製エキスは高濃度で活性化部分トロンボプラスチン時間、プロトロンビン時間を延長させ、ADP、コラーゲン、エピネフリンによる凝集を強く抑制する。また水製エキス（フィブリン平板法）はプラスミン活性を、メタノールエキスはウロキナーゼ活性を亢進させ、線溶賦活活性がみられる。

○抗腫瘍作用：⁵⁾

crocetin（生理食塩水溶液、腹腔内投与）は皮膚乳頭腫を誘発させたマウスで対照群に比し腫瘍が半減した。またラウス肉腫ウイルスを接種したニワトリに対し腫瘍死までの期間を延長した。

○プロスタグランジン系に対する作用：⁵⁾

chlorogenic acidなどは、アラキドン酸カスケードの5-リポキシゲナーゼに対し阻害作用を示す。

（古典的薬効・薬能）

薬味：苦 薬性：寒 帰経：心・肝・肺・胃⁹⁾

山梔子は能く肺火を瀉し、熱を泄し、煩を除く。外感熱病（温病）で表・裏に熱のある際によく両方に作用し解熱する。その効用は黄連や黄芩に似ているが、黄連・黄芩は能く湿を燥し、熱を清するが、山梔子は能く虚煩を療する。²⁾

神農本草経：（中品に記載）五内・邪氣・胃中の熱氣・面赤・酒皰・查鼻・白癩・赤癩・瘡瘍を治す。¹²⁾

訳 主として、肝・心・脾・肺・腎の五臓の病や、邪気によって生じた病や、胃腸の中の病や、それらに熱気が偏在する病や、顔面が異常に赤いものや酒の飲み過ぎによって生じた酒皰や、ざくろ鼻の酒查鼻や、白斑を生じる白癩や、赤斑を生じる赤癩や、瘡・瘍と呼ばれる皮膚病を治す。¹³⁾

薬 徴：心煩を主治する也。旁ら発黄を治す。⁵⁾

重校 薬徴：心煩を主治し、身熱、発黄を兼治す。¹⁰⁾

中 医 学：清熱瀉火・涼血解毒⁹⁾

(その他)

イリドイド化合物は、アミノ酸、蛋白の一級アミンと反応し、プロソイドアズレン共役体のポリマーを形成し着色することが報告されている。genipinの投与後、腸内容物、尿、血清、胆汁の総てが青～紺色に強く着色する。

山梔子を多く投与した場合、注意が必要かもしれない。

山梔子を配合する代表的な処方

茵陳蒿湯：黄疸、小便不利、腹部微満、肝炎

温清飲：婦人経脈不住、面色萎黄、臍腹刺痛、実熱往来、崩漏

黄連解毒湯：煩悶、諸出血、肝炎、胃炎

加味逍遙散：血虚勞倦、五心煩熱、肢体疼痛、頭目昏重、心松頬赤、口燥咽乾、

減食嗜臥、血熱相搏、月水不調、臍腹脹痛、実熱如瘧

梔子豉湯：心中懊憹、煩熱、不眠、胃炎、胃痛、舌上苔

<参考文献>

- 1) 日本薬局方 第12改正
- 2) 和漢薬百科図鑑 難波恒雄著
- 4) ウチダ和漢薬生薬資料
- 5) 生薬ハンドブック ツムラ
- 6) 現代東洋医学 Vol.4 No.1
- 7) 漢方製剤の知識 薬事日報社 ツムラ
- 8) 新古方薬囊 荒木性次 方術信和会
- 9) 漢薬の臨床応用 神戸中医学研究会
- 10) 重校薬徴・類聚方広義 西山英雄 創元社
- 12) 神農本草経 森立志 昭文堂
- 13) 意訳神農本草経 小曾戸丈夫 築地書館
- 15) 家庭の民間薬・漢方薬 水野瑞夫 米田該典 新日本法規
- 16) 原色和漢薬図鑑 難波恒雄 保育社
- 17) THE KAMPO Vol.4 No.2
- 18) 和漢薬の良否鑑別法及調製方 一色直太郎 谷口書店